

2

2018

三重病院

ニュースレター

news letter vol.234

01 おとなの脳性麻痺手術

02 異動のごあいさつ

5病棟の生活のひとコマ④

03 「やまばとギャラリー」情報コーナー
通所支援事業04 Medical Safety Letter 安全便り〈2月〉
外来からのお知らせ／外来診察のご案内

おとなの脳性麻痺手術

三重病院整形外科では子どもの脳性麻痺手術を行うことは多いのですが、近ごろ、子どもからおとなとなり、下肢に痛みなどのいろいろな問題を生じ、来院される方が増えています。小どもの頃からの筋肉の緊張で、脊椎、下肢などに負担がかかり、年齢の変化、生活内容の変化が加わり、関節やその周囲の筋肉・腱・靭帯などに痛みや動かしづらさなどを生じることがあります。ここでは下肢を中心にお話します。

受診のきっかけとなるのは、体重のかかる下肢の疼痛が一番多く、それに伴い移動能力は低下してしまいます。足の変形による痛み、膝が曲がった痛み、股関節が開かなくなり、脱臼や軟骨のすり減りによる痛み、緊張して硬くなった筋肉の痛みなどがあります。くすりや注射、安静では楽にならないことも多く、その時は手術を考慮します。

手術は痛む場所の筋解離・変形矯正術(筋肉や腱を伸ばし、形を整えます)を中心に計画しますが、下肢全体の麻痺、緊張を十分評価することが重要です。程度に合わせて股関節・膝・足などの多部位手術となります。術後は新しい筋力バランスでの訓練が重要で、適応により理学療法PT、作業療法OT、言語療法STを組み合わせ中長期のリハビリを入院により行っています。

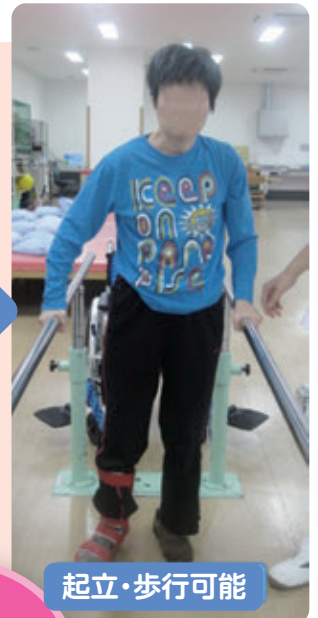
痛みや変形に対する効果は大きいと思います。長年の継続する麻痺から生じる症状なので、からだ全体のメンテナンスは必要で、じっくりと入院によるリハビリを行うことが重要です。興味がおありの方は、お気軽に当院整形外科にお問合せ下さい。

脳性麻痺43歳

右股関節脱臼
による疼痛で
起立、歩行不能
となった。



疼痛のため右下肢を伸ばせない

両股右膝右足
の手術

起立・歩行可能

脱臼

術前

両股右膝右足
の手術

修復

術後

脱臼は修復され
歩行練習も可能
(掲載許可有り)

(整形外科 西山 正紀)